安全データシート

1. 製品及び会社情報　追記

販売会社名	：株式会社理研グリーン
住所	：東京都台東区東上野四丁目8番1号
担当部門	：開発部企画開発課
電話番号	：03－6802－8587
FAX 番号	：03－6802－8303
推奨用途及び使用上の制限	：農薬

本製品に関するその他の情報については、次ページ以降を参照してください。

安全データシート

トリビュートOD／Tribute OD

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/09/12	11272397-00001	初回作成日:2023/09/12

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : トリビュートOD／Tribute OD

製品コード : Article/SKU: 80187564 UVP: 86252163 Specification: 102000022418

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : Environmental Science Japan K.K.
エンバイロサイエンスジャパン株式会社
1-6-1 Otemachi, Chiyoda

住所 : 東京都千代田区大手町一丁目６番１号
Tokyo, Japan

電話番号 : 03-4570-8758

電子メールアドレス : johji.ohdake@envu.com

緊急連絡電話番号 : +65 3163 8374
Toll Free: 0800-300-5842

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 除草剤

使用上の制限 : 制限については、製品ラベルを参照してください。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

皮膚腐食性／刺激性 : 区分２

皮膚感作性 : 区分１

発がん性 : 区分２

誤えん有害性 : 区分１

水生環境有害性 短期（急性） : 区分１

水生環境有害性 長期（慢 : 区分１

性）

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :

注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 : H304 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
H315 皮膚刺激。
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
H351 発がんのおそれの疑い。
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

注意書き :

安全対策:

P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P261 ミスト／蒸気の吸入を避けること。
P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273 環境への放出を避けること。
P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

P301 + P310 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P302 + P352 皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。
P308 + P313 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P321 特別な処置が必要である（このラベルの補足的な応急処置の説明を見よ）。
P331 無理に吐かせないこと。
P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
P391 漏出物を回収すること。

保管:

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物／容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

知見なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　：　混合物

化学名又は一般名　：　油分散体 (OD)

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	官報公示整理番号
脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル	67762-38-3	>= 40 - < 50	
炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン	64742-94-5	>= 30 - < 40	9-1691
クオタニウム 18-ヘクトライト	12001-31-9	>= 2.5 - < 10	
ホラムスルフロン	173159-57-4	>= 1 - < 2.5	
アルキル, モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩	68953-96-8	>= 1 - < 2.5	3-1906, 3-1949
１－オクタノール	111-87-5	1.2	2-217
ナフタレン~	91-20-3	>= 0.25 - < 1	4-311
蟻酸	64-18-6	< 0.1	2-670

~ この物質は別の物質の成分です。

4. 応急措置

一般的アドバイス　：　事故の場合や、気分がすぐれないときは直ちに医者の診察を受ける。
症状が長引く場合、または疑問がある場合は、医師の指示を受ける。

吸入した場合　：　吸い込んだ場合、新鮮な空気の場所へ移動する。
医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合　：　接触した場合、直ちに多量の水で少なくとも 15 分間皮膚を洗い流しながら、汚染した衣服と靴を脱ぐ。
医療処置を受ける。
再使用の前に衣服を洗う。
靴を再使用する前に完全に洗う。

眼に入った場合　：　予防措置として、水で眼を洗浄する。

刺激があり継続する場合には医療機関で診察を受ける。

飲み込んだ場合 : 飲み込んだ場合、無理に吐かせない。
患者が吐き始めたら体を前かがみにさせる。
直ちに医師または日本中毒情報センターに連絡する。
水で口をよくすすぐ。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 吸引すると肺浮腫と肺炎を起こす可能性がある。
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。
皮膚刺激。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
発がんのおそれの疑い。

応急措置をする者の保護 : 救命救急要員は自らの安全に注意を払い、推奨されている保護衣を使用すること。曝露の可能性がある場合は、項目 8 の適切な個人保護具を参照のこと（項目 8 を参照）。

医師に対する特別な注意事項 : 専用解毒剤は入手できない。
症状に応じた治療を行う。
胃洗浄は摂取後２時間以内にのみ有効と考えられる。活性炭と硫酸ナトリウムによる処置は常に有効と考えらる。
患者の状態に応じて適切な支持療法及び対症療法が推奨される。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧
耐アルコール泡消火剤
二酸化炭素（CO2）
粉末消火剤

使ってはならない消火剤 : 大型棒状の水

特有の危険有害性 : 燃焼生成物への曝露は健康に害を及ぼす場合がある。

有害燃焼副産物 : 炭素酸化物
窒素酸化物(NOx)
塩素化合物
硫黄酸化物
金属酸化物

特有の消火方法 : 現場の状況と周辺環境に応じて適切な消火手段を用いる。
未開封の容器を冷却するために水を噴霧する。
安全であれば未損傷コンテナを火災領域から離す。
区域から退避させること。

消火を行う者の保護 : 火災時には、自給式呼吸器を着用する。
保護具を使用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 保護具を使用する。
安全な取り扱いのアドバイス（項目 7 を参照）や、個人保護具の推奨事項に準拠（項目 8 を参照）。

環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。
安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
広範囲に広まるのを防ぐ（封じ込めまたはオイルバリアなどによる）。
汚染された洗浄水を保管し、処分する。
流出が著しく回収できない場合は、地方自治体に通報する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 不活性な吸収材で吸収させる。
多量にこぼれた場合、防液堤を築く等の適切な封じ込め手段を講じて、広がらないようにすること。防液堤に使用した資材をポンプで吸い上げることができる場合には、回収した物質を適切な容器内に保管する。
漏洩物質を適切な吸収剤で除去すること。
本製品を放出、廃棄する際には、各地方自治体および国の規則に従って処理すること。その放出に使用された物質についても同様である。どの規則が適用されるかを確認する必要がある。
本 SDS の項目 13 および 15 において、地方自治体および国の法規制の記載あり。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : ばく露防止及び保護措置の項の設備対策を参照。

局所排気，全体換気 : 適切な換気装置の下でのみ使用する。

安全取扱注意事項 : 皮膚や衣服に付けない。
ミスト／蒸気の吸入を避けること。
飲み込まない。
眼との接触を避ける。
取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
職場曝露調査の結果に基づき、産業性の衛生および安全性の実行規定に従い取り扱うこと
容器を密閉しておくこと。
漏れや廃棄物を防止し、環境への放出を最小限にするよう注

意する。

接触回避 : 酸化剤

衛生対策 : 通常の使用中に化学物質へのばく露の可能性がある場合は、作業場所の近くにアイフラッシングシステムおよび安全シャワーを設置してください。
使用中は飲食及び喫煙を禁止する。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
汚染された衣服は再使用する前に洗濯すること。

保管

安全な保管条件 : 適切なラベルのついた容器に入れておく。
施錠して保管すること。
栓をしっかり閉める。
各国の規定に従って保管する。

混触禁止物質 : 次の製品種類といっしょに保管しない：
酸化性固体
酸化性液体

安全な容器包装材料 : 適さない材質:知見なし。

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン	64742-94-5	OEL-M (ミスト)	3 mg/m³	日本産業衛生学会（許容濃度）
	詳細情報: 発がん物質, 「第 1 群」はヒトに対して発がん性があると判断できる物質である. この群に分類される物質は, 疫学研究からの十分な証拠がある.			
		TWA (吸入濃度)	5 mg/m³	ACGIH
ナフタレン	91-20-3	ACL	10 ppm	安衛法（管理濃度）
		TWA	10 ppm	ACGIH
蟻酸	64-18-6	OEL-M	5 ppm 9.4 mg/m³	日本産業衛生学会（許容濃度）
		TWA	5 ppm	ACGIH
		STEL	10 ppm	ACGIH

設備対策 : 特に、閉所では十分な換気の確保が必要。
作業場における曝露濃度を最低限に抑えること。

保護具

呼吸用保護具 : 適切な局所排気装置が利用できない場合、またはばく露評価で推奨ガイドラインの範囲外のばく露が示された場合は、呼吸保護器具を使用しましょう。

フィルタータイプ : 微粒子用と有機蒸気用の複合タイプ

手の保護具

材質	:	ニトリルゴム
破過時間	:	> 480 min
手袋の厚さ	:	> 0.4 mm
防護指数	:	クラス 6

備考 : 危険物質の濃度や量により、作業場に合った化学物質防護手袋を選ぶこと。 特殊作業に使用する上記の手袋の耐化学物質性を手袋の製造元に問い合わせることを推奨する。 休憩前や終業時には手を洗う。

眼の保護具 : 次の個人保護具を着用する：
保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 化学的耐性データおよび局所における曝露可能性の評価に基づいて適切な保護衣を選択すること。
不浸透性の保護衣（手袋、前掛け、長靴など）を使用することで皮膚への接触を避ける。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : ベージュ

臭い : 芳香臭

臭いのしきい(閾)値 : データなし

融点／凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲	：	データなし
可燃性（固体、気体）	：	非該当
可燃性（液体）	：	発火性（引火点参照）
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界		
爆発範囲の上限/可燃上限値	：	データなし
爆発範囲の下限/可燃下限値	：	データなし
引火点	：	128 ° C
分解温度	：	データなし
pH	：	5 - 7 (23 ° C) 含有量: 10 % 脱イオン水
蒸発速度	：	データなし
自然発火温度	：	データなし
粘度		
粘度(粘性率)	：	25 - 100 mPa.s (20 ° C) せん断速度 20/sec 20 - 60 mPa.s (20 ° C) せん断速度 100/sec
動粘度（動粘性率）	：	データなし
溶解度		
水溶性	：	分散性
n-オクタノール／水分配係数（log 値）	：	非該当
蒸気圧	：	データなし
密度及び／又は相対密度		
密度	：	約 0.96 g/cm³ (20 ° C)

相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	非爆発性
酸化特性	:	本製品は酸化性物質としては分類されない。
粒子特性		
粒子サイズ	:	8 - 14 μm

10. 安定性及び反応性

反応性	:	反応性危険としては分類されない。
化学的安定性	:	通常の状態では安定。
危険有害反応可能性	:	強い酸化剤と反応することがある。
避けるべき条件	:	知見なし。
混触危険物質	:	酸化剤
危険有害な分解生成物	:	危険有害な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

可能性のある暴露経路の情報 : 吸入
皮膚接触
摂取
眼に入った場合

急性毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

急性毒性（経皮） : 急性毒性推定値::> 2,000 mg/kg
方法:計算による方法

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:

急性毒性（経口）	:	LD50 (ラット):> 5,000 mg/kg
急性毒性（経皮）	:	LD50 (ウサギ):> 2,000 mg/kg

方法:OPPTS 870.1200
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物,<1% ナフタレン:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット):> 2,000 mg/kg
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット):> 4 mg/l
曝露時間:4 h
試験環境:粉じん/ミスト
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ):> 2,000 mg/kg
方法:OECD 試験ガイドライン 402
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

クオタニウム 18-ヘクトライト:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット):> 5,000 mg/kg
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット):> 5.2 mg/l
曝露時間:4 h
試験環境:粉じん/ミスト
方法:OECD 試験ガイドライン 403
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

ホラムスルフロン:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット):> 5,000 mg/kg
方法:OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット):> 5.04 mg/l
曝露時間:4 h
試験環境:粉じん/ミスト
方法:OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント:この物質または混合物は急性の吸入毒性は無い。

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット):> 2,000 mg/kg
方法:OECD 試験ガイドライン 402

アルキル,モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット):> 2,000 mg/kg
方法:OECD 試験ガイドライン 401
アセスメント:この物質または混合物は急性の経口毒性は無

い。
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 1,000 - 2,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 402
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

１－オクタノール:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): > 5,000 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 5 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 粉じん/ミスト
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

急性毒性（経皮） : LD50 (ウサギ): > 2,000 mg/kg

ナフタレン:

急性毒性（経口） : LD50 (マウス): 553 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): > 0.4 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
方法: OECD 試験ガイドライン 403

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 2,500 mg/kg
アセスメント: この物質または混合物は急性の皮膚毒性は無い。

蟻酸:

急性毒性（経口） : LD50 (ラット): 730 mg/kg
方法: OECD 試験ガイドライン 401

急性毒性（吸入） : LC50 (ラット): 7.85 mg/l
曝露時間: 4 h
試験環境: 蒸気
方法: OECD 試験ガイドライン 403
アセスメント: 呼吸器官に腐食性である。

急性毒性（経皮） : LD50 (ラット): > 2,000 mg/kg
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

皮膚腐食性／刺激性

皮膚刺激。

製品:

種	:	ウサギ
方法	:	OECD 試験ガイドライン 404
結果	:	皮膚刺激性

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:

種	:	ウサギ
方法	:	OECD 試験ガイドライン 404
結果	:	皮膚刺激なし

炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン:

種	:	ウサギ
結果	:	皮膚刺激なし
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく
アセスメント	:	繰り返し曝露すると、皮膚乾燥またはひび割れの発生可能性。

クオタニウム 18-ヘクトライト:

種	:	ウサギ
結果	:	皮膚刺激なし
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく

ホラムスルフロン:

種	:	ウサギ
方法	:	OECD 試験ガイドライン 404
結果	:	皮膚刺激なし

アルキル, モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩:

種	:	ウサギ
結果	:	皮膚刺激性

１－オクタノール:

種	:	ウサギ
方法	:	OECD 試験ガイドライン 404
結果	:	皮膚刺激なし

ナフタレン:

種 : ウサギ
方法 : OECD 試験ガイドライン 404
結果 : 皮膚刺激なし

蟻酸:
結果 : 3 分以下の暴露で腐食性
備考 : 国または地域の規制に基づいています。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:
種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:
種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン:
種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

クオタニウム 18-ヘクトライト:
種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

ホラムスルフロン:
種 : ウサギ
結果 : 眼への刺激なし
方法 : OECD 試験ガイドライン 405

アルキル, モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩:
種 : ウサギ
結果 : 眼に対する不可逆的影響

１－オクタノール:

種	:	ウサギ
結果	:	眼への刺激、21 日以内に回復
方法	:	OECD 試験ガイドライン 405

ナフタレン:

種	:	モルモット
結果	:	眼への刺激なし
方法	:	OECD 試験ガイドライン 405

蟻酸:

結果	:	眼に対する不可逆的影響
備考	:	皮膚腐食性に基づく。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

呼吸器感作性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

種	:	モルモット
結果	:	ヒトへの皮膚感作性の兆候または証拠があり。

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:

試験タイプ	:	マキシマイゼーション試験
暴露の主経路	:	皮膚接触
種	:	モルモット
方法	:	OECD 試験ガイドライン 406
結果	:	陰性

炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン:

試験タイプ	:	マキシマイゼーション試験
暴露の主経路	:	皮膚接触
種	:	モルモット
結果	:	陰性
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく

ホラムスルフロン:

試験タイプ	:	マキシマイゼーション試験
暴露の主経路	:	皮膚接触
種	:	モルモット
方法	:	OECD 試験ガイドライン 406
結果	:	陰性

アルキル, モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩:

試験タイプ	:	マキシマイゼーション試験
暴露の主経路	:	皮膚接触
種	:	モルモット
方法	:	OECD 試験ガイドライン 406
結果	:	陰性
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく

１－オクタノール:

試験タイプ	:	ドレイズ試験
暴露の主経路	:	皮膚接触
種	:	モルモット
結果	:	陰性
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく

ナフタレン:

試験タイプ	:	マキシマイゼーション試験
暴露の主経路	:	皮膚接触
種	:	モルモット
方法	:	OECD 試験ガイドライン 406
結果	:	陰性

蟻酸:

試験タイプ	:	ビューラー法
暴露の主経路	:	皮膚接触
種	:	モルモット
方法	:	OECD 試験ガイドライン 406
結果	:	陰性

生殖細胞変異原性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:

in vitro での遺伝毒性	:	試験タイプ:in vitro 染色体異常試験

方法:OECD 試験ガイドライン 473
結果:陰性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ:変異原性(in vivo 哺乳類骨髄細胞遺伝学的試験、染色体分析)
種:ハムスター
投与経路:飲み込んだ場合
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ:微生物を用いる復帰突然変異試験(AMES)
方法:OECD 試験ガイドライン 471
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

ホラムスルフロン:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ:微生物を用いる復帰突然変異試験(AMES)
結果:陰性

試験タイプ:in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
方法:OECD 試験ガイドライン 476
結果:陰性

試験タイプ:in vitro 染色体異常試験
結果:陽性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ:哺乳動物赤血球小核試験（in vivo 細胞毒性試験）
種:マウス
投与経路:飲み込んだ場合
方法:OECD 試験ガイドライン 474
結果:陰性

試験タイプ:in vivo 哺乳類肝細胞を用いる不定期 DNA 合成（UDS）試験
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
結果:陰性

アルキル, モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ:微生物を用いる復帰突然変異試験(AMES)
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

試験タイプ:in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ:哺乳動物赤血球小核試験（in vivo 細胞毒性試験）
種:マウス
投与経路:飲み込んだ場合
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

１－オクタノール:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ:微生物を用いる復帰突然変異試験(AMES)
結果:陰性

試験タイプ:in vitro 哺乳動物細胞遺伝子変異試験
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ:哺乳動物赤血球小核試験（in vivo 細胞毒性試験）
種:マウス
投与経路:飲み込んだ場合
方法:OECD 試験ガイドライン 474
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

ナフタレン:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ:微生物を用いる復帰突然変異試験(AMES)
結果:陰性

試験タイプ:in vitro 染色体異常試験
結果:陽性

in vivo での遺伝毒性 : 試験タイプ:in vivo 哺乳類肝細胞を用いる不定期 DNA 合成（UDS）試験
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
結果:陰性

蟻酸:

in vitro での遺伝毒性 : 試験タイプ:微生物を用いる復帰突然変異試験(AMES)
方法:OECD 試験ガイドライン 471
結果:陰性

in vivo での遺伝毒性	:	試験タイプ:キイロショウジョウバエにおける伴性劣性致死試験（in vivo） 投与経路:飲み込んだ場合 方法:OECD 試験ガイドライン 477 結果:陰性

発がん性

発がんのおそれの疑い。

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:

種	:	マウス
投与経路	:	皮膚接触
曝露時間	:	12 ヶ月
方法	:	指令 67/548/EEC, Annex V, B.32.
結果	:	陰性
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく

ホラムスルフロン:

種	:	ラット
投与経路	:	飲み込んだ場合
曝露時間	:	2 年
方法	:	OECD 試験ガイドライン 453
結果	:	陽性
発がん性 - アセスメント	:	動物実験において発がん性の限定的な証拠がある

ナフタレン:

種	:	ラット
投与経路	:	吸入(蒸気)
曝露時間	:	105 週
結果	:	陽性
発がん性 - アセスメント	:	動物実験において発がん性の限定的な証拠がある

蟻酸:

種	:	ラット
投与経路	:	飲み込んだ場合
曝露時間	:	104 週
結果	:	陰性
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく

生殖毒性

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ:生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
方法:OECD 試験ガイドライン 422
結果:陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ:生殖/発育毒性スクリーニングと反復投与毒性組み合わせ試験
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
方法:OECD 試験ガイドライン 422
結果:陰性

ホラムスルフロン:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ:二世代生殖毒性試験
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
方法:OECD 試験ガイドライン 416
結果:陰性

胎児の発育への影響 : 試験タイプ:受精卵および胎児発育
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
方法:OECD 試験ガイドライン 414
結果:陰性

アルキル,モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ:三世代生殖毒性試験
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

胎児の発育への影響 : 試験タイプ:受精卵および胎児発育
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

１－オクタノール:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ:生殖/発生毒性スクリーニング試験
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

胎児の発育への影響 : 試験タイプ:受精卵および胎児発育
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
結果:陰性

ナフタレン:

胎児の発育への影響 : 試験タイプ:受精卵および胎児発育
種:ウサギ
投与経路:飲み込んだ場合
方法:OECD 試験ガイドライン 414
結果:陰性

蟻酸:

妊娠に対する影響 : 試験タイプ:二世代生殖毒性試験
種:ラット
投与経路:飲み込んだ場合
方法:OECD 試験ガイドライン 416
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

胎児の発育への影響 : 試験タイプ:受精卵および胎児発育
種:ウサギ
投与経路:飲み込んだ場合
方法:OECD 試験ガイドライン 414
結果:陰性
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

製品:

アセスメント : この物質または混合物は特定標的臓器毒性物質(単回ばく露)としては未分類。

成分:

炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン:

アセスメント	:	眠気又はめまいのおそれ。
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

利用可能な情報に基づく限り分類できない。

成分:

ナフタレン:

暴露の主経路	:	吸入(蒸気)
アセスメント	:	濃度範囲 1 mg/l/6h/d 以下では動物における重大な健康への悪影響は無かった。

反復投与毒性

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:

種	:	ラット
NOAEL	:	> 1,000 mg/kg
投与経路	:	飲み込んだ場合
曝露時間	:	4 週
方法	:	OECD 試験ガイドライン 422

ホラムスルフロン:

種	:	犬
NOAEL	:	1,000 mg/kg
投与経路	:	飲み込んだ場合
曝露時間	:	1 年
方法	:	OECD 試験ガイドライン 452

種	:	ラット
NOAEL	:	1,000 mg/kg
投与経路	:	飲み込んだ場合
曝露時間	:	90 Days
方法	:	OECD 試験ガイドライン 408

種	:	ラット
NOAEL	:	1,000 mg/kg
投与経路	:	皮膚接触
曝露時間	:	28 Days
方法	:	OECD 試験ガイドライン 410

アルキル,モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩:

種	:	ラット
LOAEL	:	> 100 mg/kg
投与経路	:	飲み込んだ場合
曝露時間	:	9 ヶ月
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく

１－オクタノール:

種	:	ラット
NOAEL	:	> 2,000 mg/kg
投与経路	:	飲み込んだ場合
曝露時間	:	41 - 54 Days
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく

種	:	ラット
NOAEL	:	> 1,000 mg/kg
投与経路	:	皮膚接触
曝露時間	:	90 Days
方法	:	OECD 試験ガイドライン 411
備考	:	類似する物質から得られたデータに基づく

ナフタレン:

種	:	マウス
NOAEL	:	133 mg/kg
投与経路	:	飲み込んだ場合
曝露時間	:	90 Days
方法	:	OECD 試験ガイドライン 408

種	:	ラット
NOAEL	:	0.011 mg/l
投与経路	:	吸入(蒸気)
曝露時間	:	13 週
方法	:	OECD 試験ガイドライン 413

種	:	ラット
NOAEL	:	300 mg/kg
投与経路	:	皮膚接触
曝露時間	:	13 週
方法	:	OECD 試験ガイドライン 411

蟻酸:

種	:	ラット
NOAEL	:	400 mg/kg
投与経路	:	飲み込んだ場合

曝露時間 : 52 週
備考 : 類似する物質から得られたデータに基づく

誤えん有害性

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ。

成分:

炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン:

この物質または混合物は人が吸引すると毒性の危険があることが知られている。または、人による吸引毒性の危険を生じるものであると見なさなければならない。

１－オクタノール:

この物質または混合物は人による吸引毒性の危険を生じることを前提にもとづき懸念がある。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期（急性） : 水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期（慢性） : 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性。

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:

魚毒性 : LC50 (Danio rerio（ゼブラフィッシュ)): > 0.26 mg/l
曝露時間: 96 h
方法: OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna（オオミジンコ)): > 0.13 mg/l
曝露時間: 48 h
方法: OECD 試験ガイドライン 202

藻類／水生生物に対する毒性 : EL50 (Skeletonema costatum（海洋珪藻）): > 10 - 100 mg/l
曝露時間: 72 h
被験物質: 水性画分
方法: ISO 10253
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

微生物に対する毒性 : ECO (Pseudomonas putida (シュードモナス - プチダ)): 5,250 mg/l
曝露時間: 16 h

炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン:

魚毒性 : LL50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 1 - 10 mg/l
曝露時間: 96 h
被験物質: 水性画分
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EL50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 1 - 10 mg/l
曝露時間: 48 h
被験物質: 水性画分
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

藻類／水生生物に対する毒性 : EL50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 1 - 10 mg/l
曝露時間: 72 h
被験物質: 水性画分
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

NOELR (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): > 0.1 - 1 mg/l
曝露時間: 72 h
被験物質: 水性画分
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

クオタニウム 18-ヘクトライト:

魚毒性 : LC50 (Oncorhynchus mykiss (ニジマス)): > 100 mg/l
曝露時間: 96 h
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna (オオミジンコ)): > 100 mg/l
曝露時間: 48 h
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (Skeletonema costatum (海洋珪藻)): 23.8 mg/l
曝露時間: 72 h
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

最大無影響濃度 (Skeletonema costatum (海洋珪藻)): 10 mg/l
曝露時間: 72 h

備考:類似する物質から得られたデータに基づく

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性(慢性毒性) : 最大無影響濃度(Daphnia magna（オオミジンコ)):3.2 mg/l
曝露時間:21 d
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

ホラムスルフロン:

魚毒性 : LC50(Oncorhynchus mykiss（ニジマス)):＞100 mg/l
曝露時間:96 h
方法:OECD 試験ガイドライン 203

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50(Daphnia magna（オオミジンコ)):＞100 mg/l
曝露時間:48 h
方法:OECD 試験ガイドライン 202

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50(Lemna gibba（イボウキクサ)):0.00096 mg/l
曝露時間:7 Days
方法:OECD 試験ガイドライン 221

EC10(Lemna gibba（イボウキクサ)):0.000125 mg/l
曝露時間:7 Days
方法:OECD 試験ガイドライン 221

M-ファクター(水生環境有害性 短期（急性）) : 1,000

魚毒性(慢性毒性) : 最大無影響濃度(Pimephales promelas（ファットヘッドミノウ)):10.5 mg/l
曝露時間:35 d
方法:OECD 試験ガイドライン 210

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性(慢性毒性) : 最大無影響濃度(Daphnia magna（オオミジンコ)):＞100 mg/l
曝露時間:21 d
方法:OECD 試験ガイドライン 211

M-ファクター(水生環境有害性 長期（慢性）) : 100

アルキル,モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩:

魚毒性 : LC50(Lepomis macrochirus（ブルーギル）):＞1 - 10 mg/l
曝露時間:96 h
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50(Daphnia magna（オオミジンコ)):＞10 - 100 mg/l
曝露時間:48 h
方法:OECD 試験ガイドライン 202

備考:類似する物質から得られたデータに基づく

藻類／水生生物に対する毒性 : ErC50 (Raphidocelis subcapitata （淡水性緑藻）):＞10 mg/l
曝露時間:72 h
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

最大無影響濃度 (Raphidocelis subcapitata （淡水性緑藻）):＞1 mg/l
曝露時間:72 h
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

魚毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Oncorhynchus mykiss（ニジマス)):＞0.1 - 1 mg/l
曝露時間:72 d
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna（オオミジンコ)):＞1 mg/l
曝露時間:21 d
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

微生物に対する毒性 : EC50 (活性汚泥):＞100 mg/l
曝露時間:3 h
方法:OECD 試験ガイドライン 209
備考:類似する物質から得られたデータに基づく

１－オクタノール:

魚毒性 : LC50 (Pimephales promelas（ファットヘッドミノウ)):13.3 mg/l
曝露時間:96 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 : EC50 (Daphnia magna（オオミジンコ)):20 mg/l
曝露時間:24 h

藻類／水生生物に対する毒性 : EC50 (Desmodesmus subspicatus（緑藻)):14 mg/l
曝露時間:48 h

EC10 (Desmodesmus subspicatus（緑藻)):4.2 mg/l
曝露時間:48 h

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna（オオミジンコ)):1 mg/l
曝露時間:21 d

微生物に対する毒性 : EC50:350 mg/l
曝露時間:3 h
方法:OECD 試験ガイドライン 209

ナフタレン:

魚毒性	:	LC50 (Pimephales promelas（ファットヘッドミノウ)): 6.08 mg/l 曝露時間: 96 h
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:	EC50 (Daphnia magna（オオミジンコ)): 2.16 mg/l 曝露時間: 48 h 方法: OECD 試験ガイドライン 202
藻類／水生生物に対する毒性	:	EC50 (Skeletonema costatum（海洋珪藻）): 0.4 mg/l 曝露時間: 72 h
M-ファクター(水生環境有害性 短期（急性）)	:	1
魚毒性 (慢性毒性)	:	最大無影響濃度 (Oncorhynchus kisutch（ギンザケ）): 0.37 mg/l 曝露時間: 40 d
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性 (慢性毒性)	:	最大無影響濃度 (Daphnia pulex（ミジンコ)): 0.59 mg/l 曝露時間: 125 d
M-ファクター(水生環境有害性 長期（慢性）)	:	1
微生物に対する毒性	:	IC50 (Nitrosomonas sp.): 29 mg/l 曝露時間: 24 h

蟻酸:

魚毒性	:	LC50 (Danio rerio（ゼブラフィッシュ)): 130 mg/l 曝露時間: 96 h 方法: OECD 試験ガイドライン 203 備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性	:	EC50 (Daphnia magna（オオミジンコ)): 365 mg/l 曝露時間: 48 h 方法: OECD 試験ガイドライン 202 備考: 類似する物質から得られたデータに基づく
藻類／水生生物に対する毒性	:	ErC50 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 1,240 mg/l 曝露時間: 72 h 方法: OECD 試験ガイドライン 201 備考: 類似する物質から得られたデータに基づく EC10 (Pseudokirchneriella subcapitata (緑藻)): 295 mg/l

曝露時間: 72 h
方法: OECD 試験ガイドライン 201
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

ミジンコ等の水生無脊椎動物に対する毒性(慢性毒性) : 最大無影響濃度 (Daphnia magna（オオミジンコ)): > 100 mg/l
曝露時間: 21 d
方法: OECD 試験ガイドライン 211

微生物に対する毒性 : 最大無影響濃度: 72 mg/l
曝露時間: 13 d

残留性・分解性

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:

生分解性 : 結果: 易分解性。
生分解: 75 %
曝露時間: 29 d
方法: OECD テスト ガイドライン 301B

炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン:

生分解性 : 結果: 易分解性。
方法: OECD 試験ガイドライン 301F
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

クオタニウム 18-ヘクトライト:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
生分解: 4.7 - 33.4 %
曝露時間: 28 d
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

アルキル, モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩:

生分解性 : 結果: 易分解性ではない。
方法: OECD 試験ガイドライン 301E
備考: 類似する物質から得られたデータに基づく

１－オクタノール:

生分解性 : 結果: 易分解性。
生分解: 92 %
曝露時間: 28 d
方法: OECD 試験ガイドライン 310

ナフタレン:

生分解性 : 結果:易分解性ではない。
生分解: 2 %
曝露時間:4 週
方法:OECD 試験ガイドライン 302

蟻酸:

生分解性 : 結果:易分解性。
生分解: 100 %
曝露時間:28 d
方法:OECD 試験ガイドライン 301C

生体蓄積性

成分:

脂肪酸, C16-18 および C18-不飽和, メチルエステル:

生体蓄積性 : 種:Mytilus eduli（ムラサキイガイ）
生物濃縮因子（BCF）:3
方法:OECD 試験ガイドライン 305

n-オクタノール／水分配係数（log 値） : log Pow:＞ 6.2

炭化水素類、C10-C13、芳香族化合物, <1% ナフタレン:

n-オクタノール／水分配係数（log 値） : log Pow:＜ 4
備考:計算

ホラムスルフロン:

n-オクタノール／水分配係数（log 値） : log Pow:0.60
方法:OECD 試験ガイドライン 107

アルキル,モノ C11-13-分岐型ベンゼンスルホン酸カルシウム塩:

n-オクタノール／水分配係数（log 値） : log Pow:4.595
方法:理事会規則（EC）No. 440/2008, 付属書, A.8

１－オクタノール:

n-オクタノール／水分配係数（log 値） : log Pow:3.5
方法:OECD 試験ガイドライン 117

ナフタレン:

生体蓄積性 : 種:Cyprinus carpio（コイ）

生物濃縮因子（BCF）:36.5 - 168
方法:OECD 試験ガイドライン 305

n-オクタノール／水分配係数（log 値） : log Pow:3.4

蟻酸:

n-オクタノール／水分配係数（log 値） : log Pow:-2.1

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物 : ラベルの指示に従って、すべての製品を使用することをお勧めします。 未使用の製品を処分する必要がある場合は、コンテナのラベルの指示と該当する現地のガイドラインに従ってください。
廃棄物を下水へ排出してはならない。

汚染容器及び包装 : 製品ラベルおよび/またはチラシのアドバイスに従ってください。
残留物の残る空の容器は危険な可能性があります.
空の容器を再使用しない。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(UNRTDG)

国連番号 (UN number)	:	UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (Foramsulfuron)
国連分類 (Class)	:	9
容器等級 (Packing group)	:	III
ラベル (Labels)	:	9

環境有害性	:	該当

航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID 番号 (UN/ID number)	:	UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (Foramsulfuron)
国連分類 (Class)	:	9
容器等級 (Packing group)	:	III
ラベル (Labels)	:	Miscellaneous
梱包指示（貨物機） (Packing instruction (cargo aircraft))	:	964
梱包指示（旅客機） (Packing instruction (passenger aircraft))	:	964
環境有害性	:	該当

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号 (UN number)	:	UN 3082
国連輸送名 (Proper shipping name)	:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (Foramsulfuron)
国連分類 (Class)	:	9
容器等級 (Packing group)	:	III
ラベル (Labels)	:	9
EmS コード (EmS Code)	:	F-A, S-F
海洋汚染物質(該当・非該当) (Marine pollutant)	:	該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質（該当・非該当）

供給された状態の製品には非該当。

国内規制

国の特定の法規制は、項目 15 を参照する。

特別の安全対策

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのためで、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

緊急時応急措置指針番号 : 171

15. 適用法令

関連法規

消防法

第四類,第三石油類,非水溶性液体,(2000 リットル),危険等級 III

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
ナフタレン	76
ギ酸	117

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

非該当

変異原性の認められた化学物質（既存化学物質）

非該当

変異原性の認められた化学物質（新規届出化学物質）

非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2（施行令別表第 9）

化学名	含有量 (%)	備考
石油ナフサ	>=30 - <40	-
1 - オクタノール	>=1 - <10	2025 年 4 月 1 日以降
ナフタレン	>=0.1 - <1	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条（施行令第 18 条）

化学名	備考
石油ナフサ	-
1 - オクタノール	2025 年 4 月 1 日以降

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

第三種有機溶剤等

労働安全衛生法施行令 - 別表第一（危険物）

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
1- オクタノール	73	1.2

高圧ガス保安法

非該当

火薬類取締法

非該当

船舶安全法

危規則第 2,3 条危険物告示別表第 1: 有害性物質

航空法

施行規則第 194 条危険物告示別表第 1: その他の有害物

海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送 : 有害液体物質(Y 類)

個品輸送 : 海洋汚染物質

麻薬及び向精神薬取締法

麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）
非該当
特定麻薬向精神薬原料（輸出・輸入許可）
非該当

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

産業廃棄物
活性物質 : 22.5 g/l
ホラムスルフロン

16. その他の情報

詳細情報

引用文献 : 自社技術データ、原材料 SDS に基づくデータ、 OECD eChem

ポータルおよび欧州化学物質局 http://echa.europa.eu/の検索結果

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。 ACGIH 限界閾値 (TLV)
安衛法 (管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針
日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 -I.化学物質の許容濃度

ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
ACGIH / STEL : 短時間暴露限界
安衛法 (管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度
日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X%の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50%阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法(日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量) ; MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n.o.s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性性・生体蓄積性・有毒性(物質) ; PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的) 構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認 可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

この安全データシート(以下「SDS」という)で提供する情報(以下「本情報」という)は、本書作成時点において、弊社の最善の知識、情報、及び信念のもとで正確であると判断したものです。本情報は、製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄及び漏洩に関するガイダンスとしてのみ作成されており、いかなる保証又は品質規格をなすものではありません。本情報は、SDS の頭書に示されている特定された製品に関するものであり、当該本製品が他の製品と組み合わせて、又はプロセス中で使用される場合、本文中に言及がない限り、有効にはならない可能性があります。本製品の使用者各位においては、本情報及び推奨事項を適用する場合に、使用者各

位の最終製品における本製品の適切な評価を含めて、使用者各位の意図する方法での特定の状況における本製品の取扱い、使用、処理、及び保管について、確認願います。

JP / JA